

朝日連峰保全協議会 ニュースレター

(このニュースレターは朝日連峰保全協議会会員各位とこれまでの会合や作業等に参加頂いた皆様にお送りしています。)

発行者: 朝日連峰保全協議会

■朝日連峰保全協議会 合同保全作業の報告について

平成 24 年 9 月 29 日 (土) ~ 30 日 (日)、朝日連峰の三方境において、朝日連峰保全協議会第 4 回会合で決定された合同保全作業を行いました。

今回の作業箇所の三方境は風衝地で、風衝裸地、登山道の複線化、踏圧によるガリー侵食等によって現在も荒廃が進行しており、平成 20 年度実証試験、平成 22 年度合同保全作業に続き今年度で 3 度目の作業となります。作業の概要としては以下のとおりです。

29 日朝に日暮沢小屋に集合し、4 班に分かれて番線やスコップ等の資材の荷上げを行いました。三方境に到着後、狐穴小屋にデポしておいたヤシ製土嚢袋や緑化ネット等の資材を三方境に移動する作業を行い、その後班長が中心になって現地打合せと翌日の工法等作業の確認を行いました。

翌日 30 日は各班長、副班長の指導のもと下記の作業を実施しました。

- 過去に設置した土留の下部や側面等から土砂が流出し修復が必要になっていたため、ヤシ繊維を隙間に詰めて土砂流出防止を図りました。
- ガリー侵食部にはヤシ繊維と現地土砂を詰めたヤシ製土嚢袋を設置し、土砂堆積と流水のコントロールを図りました。これまでの作業から麻製土嚢袋は耐久性が低いことが判明したため、耐久性に優れたヤシ製土嚢袋を使用しました。土留め設置後は隙間にヤシ繊維を詰めて、砂流出防止を図りました。
- ヤシ製緑化ネットは耐久性に優れている為、試験的にヤシ繊維を中に詰めてロール状にして洗堀部に設置し、土砂堆積を図りました。
- 歩行路を固定化する為、ヤシ繊維やヤシ製土嚢袋、現地の転石を用いてステップを設置しました。



出発前の渋谷代表挨拶



ヤシ製土嚢袋を設置

- 裸地部を中心として緑化ネット（麻製緑化ネット、ヤシ製緑化ネット）を敷設しました。
 - 麻製緑化ネットは耐久性が低く 1~2 年で風化してしまう為、風あたりの強く風の影響を

受けやすい箇所には麻製緑化ネットを敷設後、上から耐久性に優れたヤシ製緑化ネットを敷設しました。

- 風あたりが弱く風の影響を受けにくい箇所には、事前に許可を得て周辺植生から採取した種子を播種した後に麻製緑化ネットを敷設しました。
- ネット敷設後は風で飛ばされないように番線を加工したピンで緑化ネットを固定し、微地形効果の創出と重石を兼ねて、転石を置きました。



ヤシ製緑化ネットによる土留工



歩行路固定



緑化ネット敷設



作業後の記念撮影

作業終了後には全員で施工箇所の確認を行い、予定していた作業を終了することができました。今回の作業では、朝日連峰保全協議会の渋谷代表（西川山岳会）に当日の指揮監督等、子細に渡ってご尽力頂き、竜門小屋・狐穴小屋各管理人の方々には宿泊について臨機応変に対応頂きました。作業に関わって頂いた朝日連峰を愛する多くの登山者や山岳関係者、地域関係者の皆さんにあらためて厚く御礼申し上げます。《当日は、13 団体、36 人の参加がありました》

※朝日連峰保全協議会の会則や過去のニュースレター等については、以下の URL からダウンロードできます。
<磐梯朝日国立公園内 各種資料>
<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>
<東北アクティブレンジャー日記>
<http://tohoku.env.go.jp/blog/>

【発行者】朝日連峰保全協議会
(事務局)羽黒自然保護官事務所(坂本、佐々木)
〒997-0141
山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4
TEL : 0235-62-4777
FAX : 0235-62-4537
E-mail : RO-HAGURO@env.go.jp